

令和元年年 11 月 15 日

保護者の皆様

吹田市立山田第三小学校

学校長 花田 郁子

令和元年度全国学力・学習状況調査の分析について

晩秋の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動に関しまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本年度も4月18日に6年生を対象として「全国学力・学習状況調査」が実施されました。

学力調査は、「国語」「算数」の2教科で実施、学習状況調査は「質問紙」で実施され、すでに6年生には、9月上旬に個人票とともに問題用紙と正答例を併せて返却しております。

結果は、6年生が自分の学習到達度を確認するだけでなく、学校全体の学力・学習状況として客観的に分析し、全学年でのより効果的な指導方法を検証するとともに、小中一貫教育において連続した取り組みとなるよう、指導法の改善を図る資料として活用してまいります。

各ご家庭におかれましては、今後の家庭学習の指針として、以下の分析を参考にして頂きますようよろしくお願い致します。

なお、吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しておりますので併せてごらんください。

1.調査の内容

◇教科に関する調査（国語・算数）

昨年までのA問題（主として「知識」に関する内容）とB問題（主として「活用」に関する内容）を一つにした調査となりました。

◇学習状況に関する調査（質問紙調査）

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関するアンケート調査です。

2.教科に関する調査結果について

◇国語

結果の概要…全体の正答率は、全国値を上回っている。

各領域における成果と課題

話すこと・聞くこと：全国値を上回っている。

・話し相手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる設問で無回答が多かった。

書くこと：全国値を上回っている。

・図表やグラフなどを用いた目的を捉える設問で課題があった。

読むこと：全国値を上回っている。

・目的に応じて内容を的確に押さえたり、全体を概観したりして効果的に読むことができていた。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項：全国値とほぼ同じである。

・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる設問に課題があった。

国語科における課題と改善点

○書くこと

・目的や意図に応じて、自分の考えや理由を明確にして書くということに課題があった。条件を満たしながら提示された文字数で記述したり、本文からの確かな言葉や文を抜き出しながらわかったことを記述したりすることができるように、意識して書かせる機会を増やしていく。

また、文の構成や接続語の役割を理解し使えるように書く練習を重ねる。

○伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

・同音異義語を正しく使ったり、ことわざを適切に使ったりすることに課題があった。辞典を使用し漢字の読みや意味を自分で調べる活動を取り入れ、漢字を文の中で正しく使う習慣を身につけさせる。また、ことわざや慣用語、故事成語などの意味を正しく理解し、それを使って文章を書く機会を増やす。特に同音異義語を活用する場面を増やす。

◇算数

結果の概要…全体の正答率は全国値を上回っている。

領域における成果と課題

数と計算：全国値とほぼ同じである。

・示された計算の仕方を解釈し、除法に関して成り立つ性質を記述する設問で課題があった。

量と測定：全国値を上回っている。

・資料の特徴や傾向を関連付けて判断し、その理由を記述する設問ができていた。

図形：全国値を下回っている。

・図形の性質や構成要素に着目してほかの図形を構成する設問で課題があった。

数量関係：全国値を上回っている。

・除法における計算の工夫を現した式の意味を理解することに課題があった。

算数科における課題と改善点

○数と計算

・提示された言葉を用いて記述する問題で、問題の趣旨を正しく理解し読み取ることに課題があった。問題文をよく読み、どのような解答の仕方が求められているのかを読み解く練習をする。

・計算の工夫を表した式の意味を正しく理解できていない課題があった。計算の工夫や、式の意味を考えて、それを文章で表現したり互いに説明しあったりする活動を多く取り入れていく。

○図形

・複数の図形を合成して一つにしたり、また一つの図形をいくつかに分解したりすることに課題があった。図形を辺の長さや、角度に着目して、回転させたり、裏返したり、ずらしたりした図形を想像する練習をする。

3. 学習状況に関する調査結果について

◇自分自身について

- ・自分には、よいところがあると思いますか：全国値を下回っている。
- ・将来の夢や目標を持っていますか：全国値を下回っている。
- ・物事を最後までやり遂げてうれしかったことがありますか：全国値をやや上回っている。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか：全国値を上回っている。

改善・向上のために

○自己肯定感の低さが課題である。自分に自信がないので、夢や目標を持たずにいると思われる。自分を否定的に捉えると、他人のことも否定的に捉えたり、他人からの言葉を被害的に捉えたりして対人関係がうまく構築できない。また、自分で物事を決めたり選んだりすることができず常にストレスを抱えて生活することになる。できないことがあると自己肯定感は低下するが、「がんばったからそれでいい」と思うことができれば、それ以上低くならない。「できた」成果をほめるのではなく、プロセスを認めることや、達成感を得る経験を増やしていく。教育活動全体においてそれぞれの良さが発揮できる場面を意識的に作り、自己有用感、自尊感情を育む。

◇家庭生活・地域社会について

- ・朝食を毎日食べていますか：全国値とほぼ同じ
- ・家で3時間以上勉強している、30分以下～ほとんどしていない：どちらも全国値を上回っている。
- ・休みの日に地域の図書館にほとんど行かない：全国値を上回っている。
- ・地域の行事に参加している：全国値とほぼ同じ
- ・地域や社会をよくするにはどうしたらいいか考える：全国値を上回っている。
- ・住んでいる地域のことを外国の人にもっと知ってもらいたい：全国値をやや上回っている

改善・向上のために

○家庭学習は、中学校ブロックで低学年から中学生まで系統的に継続して取り組んでいるが、できている児童とできていない児童の差が大きくなっている。宿題をするだけに終わらず、保護者と連携を図りながら家庭学習に主体的に取り組む態度を育成する。

○読書習慣定着のために、学校では、本をすぐに手に取れるように教室においたり、図書室の案内掲示板で本の紹介をしたり、読書活動環境を整備していく。また、中学校ブロックで読書活動の充実について取り組みを推進していく。

○地域と連携を図り、地域行事への参加を促したり、生活科・社会科で地域社会を知ったりして興味関心を持たせるようにしていく。

◇学校生活・学習について

- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う：全国値をやや上回っている。
- ・話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりできている：全国値をやや上回っている。
- ・5年生までの授業でコンピューターなどのICTを週一回以上～毎日使用した、授業でPCなどのICTを活用したいと思う：全国値を下回っている。
- ・授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた：全国値を上回っている。

改善・向上のために

○「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」ということは、ほとんどの児童が認識している。しかし、そう回答している児童は100%ではない。

地域、保護者とも連携し、「ぜったいにいじめを許さない学校」づくりに取り組む。また、学校生活全般において、一貫した継続した指導を徹底する。

○新学習指導要領に示される「主体的・対話的で深い学び」に向けて、授業の中で児童が自ら問題解決に向かう機会や、ペアやグループで話し合い活動をする時間を量的に増やしてきたが、量から質へさらに話し合いの内容を精査したり、じっくりと自分で考える機会を作ったり、授業改善を行っていく。

○授業でICT機器を利用する機会は増えているが、個々の児童が直接パソコンを使用する機会は、低学年では情報教育支援員のいるときに限られている。そのせいか、意欲的に活用したいと感じている児童が少ない。教科の授業の中でタブレットを使用する機会や、情報モラルの学習の機会も増やしていく。

4. 今後の取り組み

2020年度に予定されていた大学入学共通テストへの英語民間試験活用が延期されたというニュースが大きく取り扱われています。新学習指導要領では「学力」の3要素を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」としています。今まで一つの物差し（価値観）で測ってきた「学力」に、知識をどう活用できるかということや、学ぶ意欲や態度、人間性も含まれ、これを多面的、総合的に評価することが大学入試で求められるようになったのです。

さて、これは小学生には関係ない話ではありません。小学校では、「確かな学力」の定着を重点課題とし、学力向上に取り組んできました。その学力は、知識を積み上げるものではなく、理解したことを活用できる力であり、答えのない問題にも自ら解決を見出していくことができる力と定義されたのです。

今回の学力・学習状況調査から見えた課題を踏まえ、新しい学力観に沿って、新しい時代を生きる子どもたちが、社会に出たときに役に立つ、本当に必要な教育をめざして、学校・家庭・地域が連携・協働しながら、学校教育活動の充実を図っていききたいと思います。

ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。